

博士論文要旨

## ラオスにおける国内貯蓄の活用

### 一貯蓄・投資ギャップ解消に向けた考察と提言一

立命館大学大学院国際関係研究科

国際関係学専攻博士課程後期課程

ピンマーホン キンナロン

PHIMMAVONG KINNALONE

ラオスは過去 10 年にわたり比較的高い成長率を達成してきたものの、経済成長は外資の導入に依存した脆弱なものであり、長期的に維持可能な成長は達成するかは不透明である。近年では特に経常収支の赤字額は拡大する中、国内貯蓄・投資ギャップは短期資本の流入に依存しており、経済危機を発生させるリスクを常に伴っている。現在ラオスの国内貯蓄率は ASEAN 諸国の中でも最も低水準にあるため、その現状を打開することが求められている。

本論文は国内貯蓄を有効に活用して発展してきた日本、シンガポール、マレーシアなどアジア諸国での制度・枠組みを参考として本課題に取り組むものである。本研究はラオスにおいて国内貯蓄をいかに有効に活用して優先的な分野に振り向け発展できるかに関する初めての研究の一つである。本研究では、資本流入に関してそのカテゴリー別に成長率および国内貯蓄率の上昇に関係が深いかについて考察するため、ASEAN 6 カ国（インドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシア、ラオス）のクロスセクションでのパネルデータに基づき 1990-2015 年及び 2000-2015 年を対象として計量分析を実施した。その結果、国内貯蓄率が高い国では生産的な投資に活用され、その結果維持可能な高い成長率を達成するという正で有意な結果が得られ、経済発展における国内貯蓄の必要性が改めて確認された。

現在のラオスでは国内貯蓄率を引き上げることは容易ではない。政府は国内のすべての層に行き渡る全般的な経済活動の活性化を図る政策を導入するため、特に貧しい農村地域や中小企業向けの金融機能の強化が必要である。そのためにはこうした国全体の優先的かつ重要な分野における本格的な政策金融機関の設立が望まれる。一方、こうした包括的・維持可能な成長目的を達成するための法的枠組みの整備が必要であろう。

コメントの追加 [H1]: In Japanese, the family name comes first like this, but in English the first name comes first and family name is to be followed. In your case, Phimmavong is the family name, I suppose. So, please check the order in 'Katakana'.

コメントの追加 [H2]: Only one space please